

2016 全国母と女性教職員の会

子どもたちに平和な未来を
—護ろう憲法 新たな決意を今ここから—



8月1日（月）～2日（火）、東京都世田谷区民会館・日本教育会館・連合会館で「全国母と女性教職員の会」が行われました。今年のテーマは「子どもたちに平和な未来を—護ろう憲法 新たな決意を今ここから—」で、福井県からは保護者4名と女性教職員7名、県教組本部2名の計13名が参加しました。近年は女性だけでなく男性の参加者も求めていることもあり、男性の姿もあり幅広い世代の方々が見られました。

1日目 全体会 世田谷区民会館

講演「生活と社会と政治～わたしの経験」作家の 中沢けい さん
「詩と絵本の世界から」エッセイストの 朴慶南 さん

だれもがその人らしくいきいきと生きられる平和で平等な社会をめざそうという熱い思いが、お二人の話から強烈に伝わってきました。



2日目 分科会 日本教育会館・連合会館

15の分科会が日本教育会館と連合会館で行われました。第7分科会では敦賀支部の保護者である野元賢一さんが発表されました。主夫として毎日を送っていらっしゃる野元さんが感じる男女共同参画について、参加者も興味深い様子で活発な意見交換がなされ、盛り上がりました。



参加者の感想

- ・「改憲やヘイトスピーチ・・・他を排除しようとする世論で混乱している様子など、新聞やテレビの報道を見るにつけ、どんどん戦争に近づいているような漠然とした不安を感じます。しかし、学校と自宅を往復するだけの毎日で遠い国の出来事としか思っていない自分もいます。今回、「全国母女の会」に参加し、全体会の講演ではもちろん、分科会「小学生」でも、他との違いを「差別」するのではなく、その違いを認め、尊重し合う気持ちや態度を育てていくことの大切さを痛感しました。
- ・私の町では、人権教育推進に力を入れていることもあり、学校教育においてもジェンダー平等の学習を取り入れ、男女共同参画に取り組んでいます。男女平等教育研究部会の取り組みを学ばせていただき、大変参考になりました。今後の取り組みに生かしていきたいと思えます。グループ討論では、多くの方の考えや思いを聞くことができ、大変よい刺激をいただきました。今後も自分自身の人権・ジェンダー平等に対する意識・態度を高めていけるように努めていきたいと改めて思いました。

全国母と女性教職員の会に参加していただいた各支部代表の保護者の皆さんの旅費は、女性部のカンパ金でまかなわれています。